

知事コメント（H29.8.4）

- 本日、中国四国防衛局から、空母ロナルド・レーガンに搭載されている5機のE-2Dが、8月6日ごろから岩国飛行場に飛来する、これにより、米軍空母艦載機移駐が開始されるとの説明がありました。

- 米軍空母艦載機の移転は、県民の安全・安心にかかわる重要な問題であると認識しており、このため、日米両国政府に対し、米軍岩国基地への艦載機の移転に伴う騒音被害や事故発生、米海兵隊員による事件・事故などの増大の懸念を伝え、県民の不安解消に向け、実効性のある対応がなされるよう強く要請を行ってきたところであり、改めて、国に申し入れを行ったところです。

- また、8月6日は、原爆死没者の御霊を慰め、併せて世界恒久平和の実現を祈念する日であります。
米軍機の飛行に当たっては、日米合同委員会6項目合意の遵守を求めてきたところではありますが、8月6日の航空機の飛行については配慮されるよう、国に対し、米側に求めるよう強く要請いたしました。

- 県といたしましては、県民の皆様はもちろん、国内外から本県を訪れる多くの方々も含む、安全と安心を守る観点から、今後とも、艦載機移転に伴って、事件・事故の防止はもとより、不安が増すことのないよう、国及び米側に対応を求めてまいります。